



広報 のぼりべつ



東通り舗装工事

7月号

No. 111

町道舗装工事 着々進む

登別都市計画の街路事業として主要街路の舗装工事を年次計画でおこなっていますが、今年も東通りの舗装が始まりました。

進められている舗装工事は、北駅前通り交叉点（永沢理容院前）から学校横通り交叉点までの230m。車道9m、歩道3.5m（両側）で、いまグレーダーにより整地作業が盛んにおこなわれています。

工事費は、10,346千円で、8月末日完成予定で工事が進められています。

また、町道の舗装工事も年次計画されており、今年も多くの舗装化をするよう計画が進められています。

「どもの」民主性を育て

夏休みの生活

こどもたちがいちばん楽しみにしている夏休みがやつてきました。

この楽しい休みも、長くつづくとしろいに生活が乱れ、悪の道へ落ち込むこどもさんもあとを断ちません。

夏休みは、きびしい暑さを避け、健康な体をつくることがねらいです。また、この期間は、こどもの自主的な生活習慣を育てたり個性を伸ばすのによい機会です。

遊びや勉強に夏休みを楽しく有意味に送らせるため、家族みんなで夏休みの意義を話し合い、楽しめます。

朝の涼しいうちに学習をするよ

うにし、また、休みてなければできない生活ができるようにしましょ

う。

◇学習について

夏は、伝染病などの多く発生する季節です。暴飲暴食はつてしましょう。

水泳や花火遊び、自転車のりなど、危険をともなう遊びに注意し

特に、キャンプや水泳、登山には保護者をつけいかせましょう。

◇その他

（益おどり（こどもおどり）は八時までとし、ふたんは午後六時ま

で帰宅しよう。

○アルバイトは学校に届出をしてからさせましょう。

○青少年会館（体育館、図書館）を利用しよう。

海や川での事故を防ごう

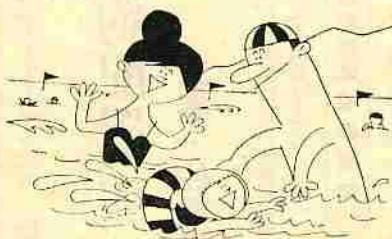
ことしも水泳シーズンがやつてきました。大せいの人が海や川にでかけますが、毎年水により多くの犠牲者がでています。

昨年、道内では二十九人もこどもの水死事故があり、交通事故で死亡した数より多くなっています。

ことしこそは、このような事故のないよう次のことを守り、たのしいシーズンにしましょ。

●なるべく各地に施設しているブルーパーク海水浴場での水泳は、△

海や川での泳ぎはおとなといっしょに



準備体操をよくしましょう。△泳ぎの上手な大人と一緒にいきましょう。△水中でぶざけるのは危険です。つねにグループとよく連絡をとって泳ぎましょう。△疲れているとき、かぜきみのとき、体の具合の悪いときは、泳ぐのをやめましょう。

●町内の海岸全域、または河、沼は、水泳が禁止されていますので絶対に泳がないようにしましょ。

●町内では二十九人もこどもの水死事故があり、交通事故で死亡した数より多くなっています。

この日は、グランドに白線で模擬横断歩道と信号機が設けられ、学年別に交通指導がされました。

この青空教室で、信号機のない横断歩道では、まず手をあげ左を確認してからあわてず横断してくださいと指導すると、こ

各小中学校で

青空交通教室

町交通安全係では、毎年交通安全指導、交通安全施設の整備など悲惨な事故をなくするよう対策を進めました。青空交通教室を幌別中学校をトップに各小、中

学校の児童、生徒を対象に開かれました。

この日は、グランドに白線で模擬横断歩道と信号機が設けられ、学年別に交通指導がされました。

この青空教室で、信号機のない横断歩道では、まず手をあげ左を確認してからあわてず横断してくださいと指導すると、こ

各地ニュース

のあとを正しい横断のしかたを習慣づけるため、数回のリハーサルが繰り返されました。

また、信号機の色別による体制について各学校約時間半にわたって実地指導がおこなわれ、児童生徒は、交通事故を登別町からくそうと熱心に指導を受けておりました。

今年からはじった優良多児家庭に対する知事からの祝い金が、町内の三家庭に伝達されました。

これは、健康な赤ちゃんをたくさん生んで、明るい家庭をつくってほしいということで、四児以上の出産に贈られたものです。

登別町内で祝い金が贈られた家庭は、札内三八一番地の母、柴田

美恵子ちゃん（四月十三日四人目の出産）、川上六一番地の母林桂子

さん（四月二十九日四人目の由加ちゃんを出産）の各家庭で、七月一日室蘭保健所より知事代理として、各家庭を訪問して、それぞれ祝い金が支給されました。



幌別小学校でおこなった青空教室

昭和六十年のビジョン

(4)

登別町総合開発計画から

先月号は、産業経済振興計画の

観光についてお知らせしましたが

今月は、土地利用計画の内容が

どうなっているかをお知らせしま

す。

土地利用計画とは、現在の都

市構造や市街化の法則の正確な認

識のうえに、将来おこりうる土地

の用途変更および各種用途の土地

需要を計画の目標、構想などに沿

つてどのように配置すべきかを計

画するものである。

以下土地利用の基本方針、市街

地区の画定、用途別土地需要量

の推計にわけてお知らせします。

土地利用の基本方針

◆本町の大半は、山岳または丘陵

地で、太平洋岸までせまつており

都市的の土地利用に適した平坦地は

海岸沿いに幅約一筋で、いくつか

のふくらみをもつた帶状をなして

いる。観別から鷲別に向ける低湿

地であり、また国道三十六号線より

海岸寄りも砂地で地味はよくな

い。これら不良地をできるだけ避

け、国道三十六号線と丘陵地にはさまれた区域で都市的の土地利用

をおこない、また主要な都市施設

を収容すること、つまり土地利用効率をあげること、つまり土地利用効率をあげるために市街地はなくべくコンバ

クトなものにする。

新都市計画法の精神からしても

市街化区域を設定し、向う十年間

に市街化が予想される区域と当分

市街化を保留した方がよい区域と

に明確に分け、道路、上下水道、

電気、ガスなどの都市施設の効率

止して各種用途は集約配置し、工

業用地および住宅用地は極力団地

づつどのように配置すべきかを計

画するものである。

化する。

◆工業用地は、国道三十六号線と

国鉄蘭本線の広域的主要交通系

統に隣接し、また既存の工業用地

は、生産効率および環境などを考

慮して、字千歳地区に集約的に団

地形式で立地させるようとする。

◆住宅地は、水道、電気、ガスな

どのが供給施設、公園、購買施設、

学校、図書館、集会所など文教施

設の効率上、また社会環境の面か

ら住区単位が生じやすいような規

模と形態にする。

◆本町の中心街である幌別地区に

商業業務を中心と、全体を対

象とするサービスをそこなう施設

各種用地は集約配置

工業・住宅用地は団地化する

的中央卸売市場に近い位置に漁業

関連用地を設置する。

市街地区域の画定

市街地区域の画定方には、普

通一般に密度的なとらえ方が用い

られているが、本画定は、建物棟

数密度を用いた。

登別町は、大別して鷲別、幌別

、登別、登別温泉の四つの核に分け

られるが、人口密度25人/haに対

するパラメータとしての建物棟

密度を地区別に求めると、

鷲別地区 三・五(棟/ha)

登別地区 四・〇(棟/ha)

用途別土地需要量

区分	現況値(A)	計画値(B)	過不足(B)-A)
住居用地	457	566	109
商業用地	51	80	29
工業用地	41	202	161
準工業用地	20	200	180
市街地計	569	1,048	479

の三つがあり、この推計方法の平均をとつて、昭和六十年の商業用地を八〇haとする。

◆工業用地 工業用地の需要量は、将来の工業出荷額を基礎にして求められ、昭和六十年における工業出荷額を二三五億円、土地生産性(三億五千万円/ha)として推計すると、昭和六十年における本町の工業用地は九・一haになる。

さらに本町に要求される室蘭市の工業用地市外立地分一一haと

なっているので、合せて二〇二haの工业用地となる。また、準工業

用地も重に二〇〇haが必要と

ができるだけ立地させる。
◆登別温泉地区(カルルス温泉を含む)は、既存の観光資源の保存ばかりでなく、積極的な開発をおこない、商業地域の飛地として自然公園から除外する。

◆農業地は、海岸沿いの市街地区と分離し、丘陵地の広大な原野において、既存の経営土地を整備すると共に新規な開発をおこなう。

◆鷲別地区、一六一ha、幌別地区

、二四九ha、登別地区一一一ha、登別温泉地区四八ha

登別温泉地区 三・五(棟/ha)
となる。
このバラメーターをもとに画定した地区別の市街地面積は次のようになる。

登別温泉地区の人口密度をそれそれ

七〇人/haとみなし、昭和六十年における市街地人口率は八五

程度になるものと予測される。

また、住居用地以外の準工業用地、商業用地の人口密度をそれぞれ五〇人/ha、一二〇人/ha、住居團地には七五人/haの密度で人口がはりつくものと仮定する。以上の仮定のもとに昭和六十年における住宅団地を推計すると、市街地人口は六二、〇五〇人となり、このうち準工業用地の配分人口は一〇、〇〇〇人、商業団地の配分人口は九、六〇〇人となる。これにより住居用部分人口は四二、四五〇人となり、昭和六十年における住宅用地は五六六haと推計される。

以上より各用途別土地需要量は総計一、〇四八haと推計され、現況よりさらに四七九haが新規に各用途別に開発されなければならない。

◆住居用地 現在における本町の人口集中地区人口率は三五%程度であるが、市街地人口率は六五七〇%程度とみなされ、昭和六十年における市街地人口率は八五

程度になるものと予測される。

また、住居用地以外の準工業用地、商業用地の人口密度をそれそれ

〇人/ha、一二〇人/ha、住居團地には七五人/haの密度で人口がはりつくものと仮定する。以上の仮定のもとに昭和六十年における住宅団地を推計すると、市街地人口は六二、〇五〇人となり、このうち準工業用地の配分人口は一〇、〇〇〇人、商業団地の配分人口は九、六〇〇人となる。これによ

り住居用部分人口は四二、四五〇人となり、昭和六十年における住

宅用地は五六六haと推計される。

以上より各用途別土地需要量は総計一、〇四八haと推計され、現況よりさらに四七九haが新規に各用途別に開発されなければならない。

◆登別温泉地区の人口密度をそれそれ

七〇人/haとみなし、昭和六十年における市街地人口率は八五

程度になるものと予測される。

また、住居用地以外の準工業用地、商業用地の人口密度をそれそれ

〇人/ha、一二〇人/ha、住居團地には七五人/haの密度で人口がはりつくものと仮定する。以上の仮定のもとに昭和六十年における住宅団地を推計すると、市街地人口は六二、〇五〇人となり、このうち準工業用地の配分人口は一〇、〇〇〇人、商業団地の配分人口は九、六〇〇人となる。これによ

り住居用部分人口は四二、四五〇人となり、昭和六十年における住

宅用地は五六六haと推計される。

以上より各用途別土地需要量は総計一、〇四八haと推計され、現況よりさらに四七九haが新規に各用途別に開発されなければならない。

◆登別温泉地区の人口密度をそれそれ

七〇人/haとみなし、昭和六十年における市街地人口率は八五

程度になるものと予測される。



納稅貯蓄組合連合会開く

ておこなわれ、三浦連合会長、高田町長のあいさつについて、来賓のかたがたから祝詞かのべられました。

引きき会議に入り、議事では、連合会側より連合会の経過報告、

新年度予算および事業計画など、町側より四十三年度の収納状況など六議案について活発に審議されました。

議事の中から四十三年度の町税収納状況をみると、収納率は前年度と同じ九三・四%で、この内、町税の大きな役割を占めている固定資産税は一億四二、八九〇千円の収納額で前年度より一千四、二五二千円増収になつていますが、収納率では、〇・五%減少しております。

また、町民税は、前年度と同率の九五、六%で一億三、六〇三千円の収納額となりました。

ついで、たばこ消費税の四千九、八二六千円、入湯税の二千三、一八四千円で、町税を合計すると前年度より三千三、六一七千円上廻る三億四九、七八〇千円となりました。午後から優良組合などの表彰がおこなわれ、それぞれ表彰状と記念品がおこなわれました。

表彰された納稅貯蓄組合は次のとおりです。

◇優良組合（町長表彰）

・三年間連続完納・登別五町会第一、登別七町会第一、緑ヶ丘

・五年間連続完納・幌別ハウス・七年間連続完納・登別四町会

・あけぼの、登別四町会、登別五町会（第二、第三）、富浦第五、ハ

月二十五日十時三十分より中央公民館で開かれました。この日は、町内二三三〇の組合

・宇街登喜和、鷲別五町会第二、ハ

（中登別六五）、鹿野善美（鷲別

マナス

・十年間連続完納・中登別第一、

・中登別東、登別一町会第二、登別

二、札内第一、鷲別三町会第四、

鷲別四町会（第二、第三）、鷲別

八町会第三、登別五町会第五

◇功労組合長（町長表彰）

・五年間連続完納・長内弘（幌別

ハウス）、大塚辰次郎（十字街）

・七年間連続完納・佐々木秀雄

（あけぼの）、泉友吉（登別四町

会、三上政太郎（登別五町会第

二）、村上弘（登別五町会第三）、

吉原訥（富浦第五）、小西ツネ（登

喜和）、鎌田ヒラミ（鷲別五町会

内第一）、篠原勇造（鷲別三町会

第四）、桐正雄（鷲別四町会第二）、

鹿野善雄（鷲別四町会第三）、西

城信義（鷲別八町会第三）、また

連合会長表彰として、十年以上連

続完納組合員一九二名が表彰され

ました。

（幌別鐵南第二）、杉本庄吉（札

会第二）、小清水福藏（富浦第七）、

石田弥吉（富浦第九）、相良政雄

（幌別鐵南第二）、杉本庄吉（札

内第一）、篠原勇造（鷲別三町会

第四）、桐正雄（鷲別四町会第二）、

鹿野善雄（鷲別四町会第三）、西

城信義（鷲別八町会第三）、また

連合会長表彰として、十年以上連

続完納組合員一九二名が表彰され

ました。



鄭重におこなわれた伝達式

町の人口

6月末現在

総 人 口	44,385人	(174増)
男	22,483人	(69増)
女	21,902人	(105増)
世 帯 数	11,955世帯	(48増)

() 内は先月との増減

たばこは
町内で買いましょう

たばこを町内で買うと

その $\frac{18.1}{100}$ が町の収入になります。

43年度、町内では、8千5,888千円のたばこを販売して、4千9,826千円の税金が町に入りました。

郵便番号を
お忘れなく

夕あて名にも差出すほうに
も郵便番号を夕 郵便番号
は住所の一部です。

町では、今年はじめておとしよりに対し「敬老年金」を贈り、心から敬老の意をあらわし、おとしよりの福祉をたかめることになりました。

今年の支給日は九月十五日です。該当するかたは次のかたがたです。

七十五歳以上のかたに

敬老年金を支給

申請手続きをしてください。

◇年金支給対象者

・住所要件 四十四年九月一日現在で登別町内に居住しているかた。

・年齢要件 四十四年九月一日現

在で満七十五歳以上のかた(明治二十七年九月三日以前に出生したかた)

交通安全指導に新威力

セットカーを購入

六月二十五日交通安全セットカーが住民課交通安全係に配置されました。

このセットカーは、トヨペットコロナマークII一、五〇〇ccで、八〇万円。内部には広報用放送器具一式と青空教室用の信号機、標識が備え付けられています。

今後は交通安全の啓発、青空教室、交通事故防止に活用するものと期



導入した交通安全セットカー

お知らせ

ボーイスカウト隊員を募集

ボーイスカウト登別第一団では次により第二次隊員を募集しております。
◇入隊できるかた 町内の小学5年生から中学1年生までの男子
◇〆切 8月20日
◇申込み場所 町教育委員会
◇その他

訓2日 毎週日曜日13時30分~16時30分
(夏期休みは合同野外訓練あり)

訓練本部 登別町青少年会館内
なお、詳細については、隊長泉隆宅、来馬169番地(電話帳別3,566番)にお問い合わせください。

◆だより
あなたの財産は完全に守られていません。最近バイク、自転車の盗難がふえてます。

盗まれる場所は、幌別西口駅附近が一番多く、続いてあなたの家のまわり、店の前となっており、ちょっと用事があった時、間がなかつたなど自分の不注意から盗難が多く発生しております。

いますぐ確めて、あなたの財産を守りましょう。

また、最近は青空車庫が非常に多くなりました。あなたのところはだいじょうぶでしょうか。

家族そろってドライブにと心をこめてきれいにした乗用車も、朝になつたら忍者のごとく消えたということのないようできるだけ車庫に入れましょう。

赤電話の使用について

普通赤電話で市外通話をしようと10円玉をたくさん入れる人がおりますが、電話機故障の原因となります。

赤電話で市外通話をするときは金色の帶の大形赤電話をご利用ください。

◇支給額 年二、〇〇〇円
◇申請手続 対象者(本人)は、敬老年金給付申請書を九月一日から九月五日までに役場住民課または各支所(用紙を備付してあります)に提出してください。

なお、本人が申請できないときは、扶養義務者または同居

運転免許証の更新は

講習を受けながら

講習日は、週二回(火・木曜日)

九時三十分から十二時三十分まで

で次の要領で実施しています。

自動車運転免許証の有効期限を更新しようとするとたであつて、

新規期限前三ヶ月以内のかたが受講できます。

講習所要時間と内容

(1)交通事故の現状および運転者の社会的地位と責任――二十分

(2)安全運転の心構え――三十分

(3)安全運転の知識――三十分

(4)安全運転の知識と技術――三十分

(5)交通法令の改正要點――三十分

(6)視聴覚教材(映画、スライド)による講習――四十分

講習料 無料

なお、受講終了者には、更新時に講習受講証明書が交付され、運転

者は、この証明書を警察に提示するとき新免許証が交付されます。

美 景

(愛情銀行へ)

山本憲二(温泉)二〇、〇〇〇円
志賀幸夫(幌別)二〇、〇〇〇円
小柴泰次(登別)二〇、〇〇〇円
ヨーヒーバーリイ 八九八円
水沢裕一(来馬)五〇〇円

置名(幌別)四〇〇円
岩佐里き(登別)衣類外二点
氣田武彦(幌別)ヶ外三点
置名(来馬)ヶ外一五点

登別高校切手趣味の会
古切手一、二〇〇枚

幌別青年友の会 ケ四、〇〇〇枚
岩花五郎(温泉)ヶ五〇〇枚
美野田享子(来馬)一、〇〇〇枚
立野たか(幌別)ヶ八〇〇枚
水沢裕一(来馬)ヶ五〇〇枚
町教育委員会親睦会一四〇〇枚